

# ☆分数のかけ算

分母同士・分子同士でそのままかけるだけ

$$\frac{10}{100} \times \frac{2}{3} = \frac{20}{300}$$

☆分数の割り算→割り算はかけ算(ただし逆数)に変換する！！

「逆数」のかけ算に変換※「逆数」にするのを忘れないこと

$$\frac{2}{7} \div \frac{1}{4} \rightarrow \frac{2}{7} \times 4 = \frac{8}{7}$$

イメージ

「 $\frac{2}{7}$ のグループ」が4つ！！

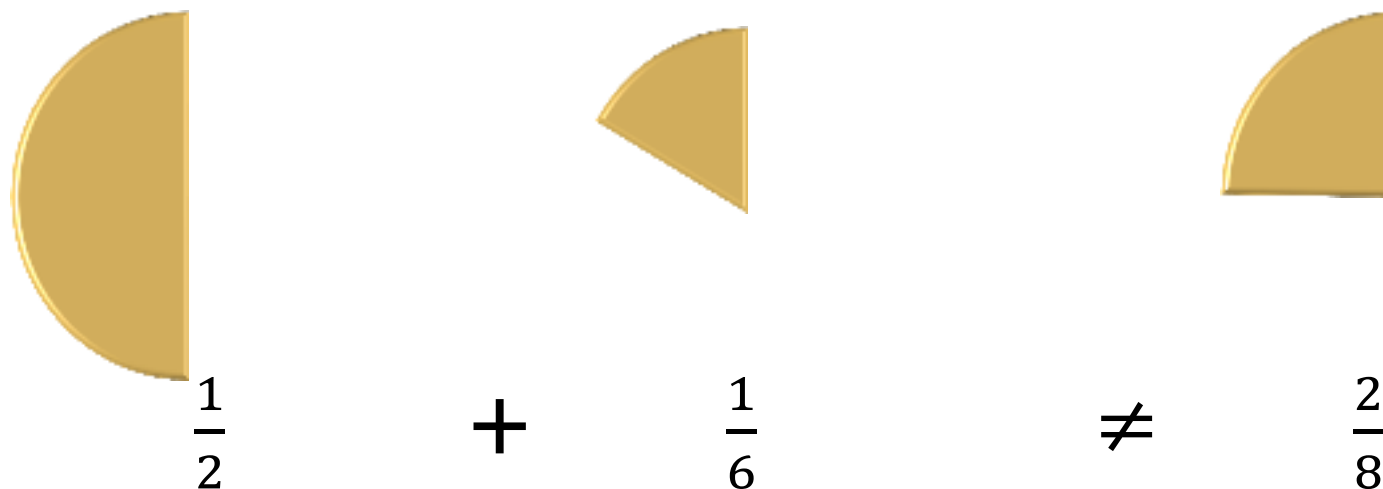
# ☆分数の足し算

$$\frac{1}{2} + \frac{1}{6} = ?$$

☆よくある間違い(分母分子をそのまま足す)

※これをやったらダメ×  $\frac{1}{2} + \frac{1}{6} = \frac{2}{8}$

(ピザのイメージで考える→小さくなるなんてアリエナイ)



# ☆分数の引き算

$$\frac{1}{2} - \frac{1}{6} = ?$$

☆よくある間違い(分母分子をそのまま引く)

※これをやったらダメ×  $\frac{1}{2} - \frac{1}{6} = -\frac{1}{4}$

(ピザのイメージで考える→マイナスのピザって何?→アリエナイ)



$$- \frac{1}{6} \neq -\frac{1}{4}$$

# ☆分数の約分

分数は、分母・分子に『同じ数』※ポイント  
をかけても、わっても同じ「足し算、引き算はダメ」

★ $\frac{10}{100}$  → 分母・分子に「同じ数」10をかけると $\frac{100}{1000}$

→ 分母・分子を「同じ数」10で割ると $\frac{1}{10}$

→ これを「約分」という！！

「何通りも表せる分数をどうせならもっとかんたんに表すこと」＝「約分」

☆ 分母・分子に「違う数」をかけると、元の分数とは一致しない

$\frac{10}{100}$  の分母に3、分子に2をかけると  $\frac{20}{300} \neq \frac{10}{100}$  (不一致)

# ☆分数の足し算、引き算は「通分」が必要

(かけ算・わり算は通分してもよいが、ムダなので通分しない)

☆ **通分 ⇔ 分母を同じにすること！！**



**なぜ？**



$\frac{1}{2}$  と  $\frac{1}{6}$  はピザの分け方が違うから！



**ピザの分け方をそろえる必要がある！！**

$$\frac{1}{2} + \frac{1}{6} = \frac{3}{6} + \frac{1}{6} = \frac{4}{6} = \frac{2}{3}$$

(ピザ2分割)      (ピザ6分割)      (ピザ6分割に統一)      (ここでまた約分)



$$\frac{1}{2}$$



$$\frac{1}{6}$$



$$\frac{2}{3}$$

# ☆分数のもう一つの意味

→ 割合(%)と同じ

$$\frac{2}{10} = 20\% = 2割$$

★言い方の違い(本質は1つ)

関西弁で「ボケ≡アホ≡おたんこなす」

※分数にする理由⇒「1基準」(EX  $\frac{3}{3}$ ,  $\frac{7}{7}$  などわかりやすい)

※パーセントにする理由⇒「100基準」(EX 40%、60%などわかりやすい)

※割合にする理由⇒「10基準」(EX 3割バッター、2割引きなど)

★基準が1なのか？10なのか？100なのか？だけの違い